

車の運転免許の高齢者講習、周辺の視野を意識する習では視野検査が実施されるようになります。安全な運転には、視力だけではなく「病気」には、普段あまりく、ある程度の視野も必要意識しない周辺の視野からという事です。

視野とは「物の見える範囲」で、自分では気づきにくいとこ

# 健康ファイル

愛媛県医師会

「囲」の事です。片目で正ろが厄介です。放置すると面を見て、上方と鼻側は60度、下方70度、耳側100度、それでは病気を紹介度が見える範囲で、両目で見ると水平方向は180度、最も知られた病気は緑内障以上あります。しかし、日障です。緑内障とは、主に日常生活では中心の視野(0度)眼圧により視神経が障害さ(30度)でほとんど事が足れて視野が欠ける病気で

## 視野が欠ける病気

松山市・かわさき眼科 川崎 史朗

す。慢性緑内障では、急に注意です。早速チェック。また新聞を20〜30秒ほど、加齢黄斑変性や黄斑前離して片目ずつ見て、何膜という病気は中心の視野となくかすむところがあれに異常を来し、「見よつと」

失った視野を回復させる。飛蚊症は加齢により誰に発見がとも大事です。製薬会社のインターネットサイト( <http://www.ntr40.jp/check/> )にアクセスすると簡易チェックができます。また同じ網膜の病気で、ここに挙げたような症状がある場合には、早めに検査を受けてください。

また新聞を20〜30秒ほど、加齢黄斑変性や黄斑前離して片目ずつ見て、何膜という病気は中心の視野となくかすむところがあれに異常を来し、「見よつと」

# 放っておくと失明も 片目ずつ点検 早期発見

県医師会ホームページ <http://www1.ehime.med.or.jp/>